

TOM'S 52159-TGH40-#

アルファード リヤアンダースポイラー

取付・取扱用説明書

この度はトムス リヤアンダースポイラー（以下スポイラー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品の取付け方を以下に記します。正しい取付けをお願いいたします。
本取付説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に取付けを行ってください。

本書（取付 / 取扱説明書）は、必ずご使用になるお客様へお渡しください。

■品番・適合車種：本製品は以下の車種に対応しています。（2024年7月）

品番	塗装色	備考
52159-TGH40-W	プラチナホワイトパールマイカ< 089>	R5.6～ トヨタ アルファード AGH4#W/AAHH4#W トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。
52159-TGH40-B	ブラック< 202>	
52159-TGH40-Z	素地	

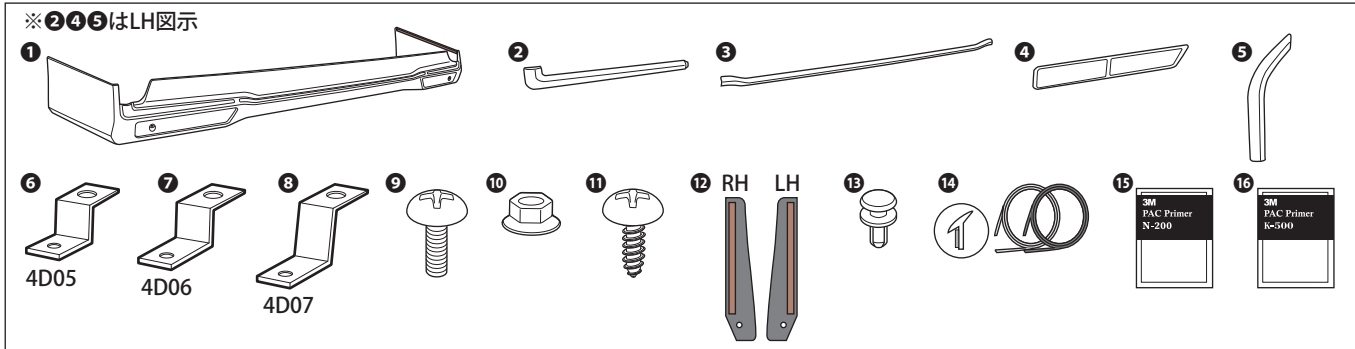
※最新の適合情報は、ウェブサイトをご参照ください。（<https://www.tomsracing.co.jp/>）

■構成部品：本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

No.	品名	個数	備考
①	スポイラー	1	
②	メッキパーツA (RH/LH)	各1	スポイラー左右上段部
③	メッキパーツB	1	スポイラー中央部
④	メッキパーツC (RH/LH)	各1	スポイラー左右下段部
⑤	メッキパーツD (RH/LH)	各1	リヤバンパー リフレクター部
⑥	ステーA	2	4D05
⑦	ステーB	2	4D06
⑧	ステーC	2	4D07
⑨	トラスボルト (M6×15mm)	6	
⑩	フランジナット (M6)	6	
⑪	タッピングビス (M4×12mm)	2	
⑫	プレート (RH/LH)	各1	
⑬	クリップ	2	
⑭	イ型モール (ブラック、グレー)	各1	※52159-TGH40-Z 素地品のみ同梱
⑮	PACプライマー N-200	2	
⑯	PACプライマー K-500	1	※52159-TGH40-Z 素地品のみ同梱

※本製品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることをご確認ください。

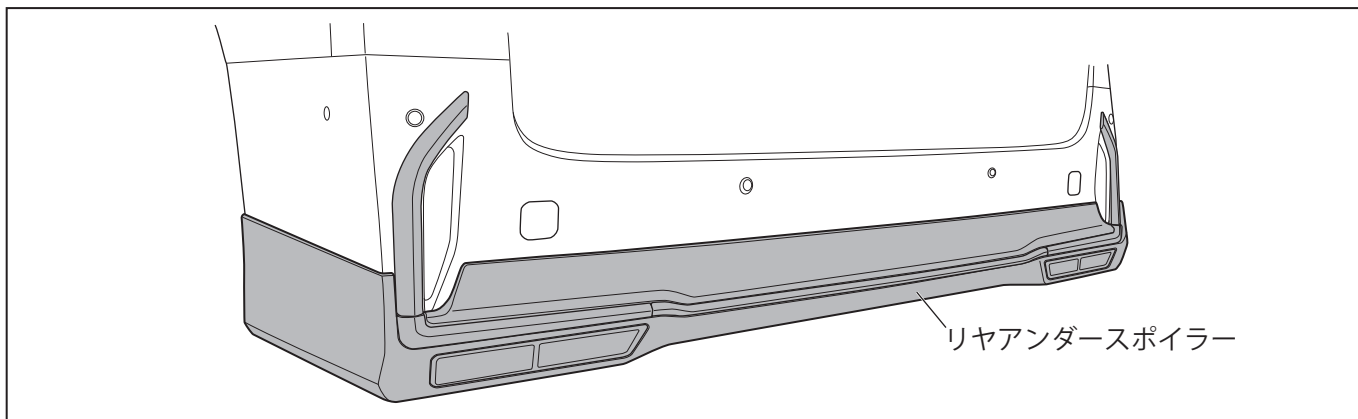
■構成部品：本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。



■取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・加工用工具（ハサミ・カッター・キリなど）・ヤスリ・電動ドリル（刃：2.0mm）・保護メガネ・定規、スケール
- ・軍手・保護シート・保護（養生）テープ・マスキングテープ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■取付構成図



■取付時のご注意（取付作業の方へ）：作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

**警告**

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険、または、重大な傷害などを負う可能性がある内容について記載しています。

**注意**

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと、事故に繋がったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがある事を記載しています。

**注意**

取付け前（素地品は塗装前）に、必ず製品をご確認ください。
取付け後（または塗装後）は交換等に応じられません。

**アドバイス**

スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

⊘ やってはいけないこと ⚠ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造、加工及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので、絶対に行わないでください。
- ❶ 本製品を取付け、交換は、当該車両の修理書（トヨタ自動車㈱）に従い、かつ本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❶ 取付けは規定トルクに従って、確実に締め付けをしてください。締め付けが足りないと脱落などにより、重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❶ 本製品を取付け前に、構成部品（P1の表参照）が全て揃っていること、損傷や不具合などがないかを確認してください。塗装後、取付け後に発覚した損傷や不具合に対するクレームには応じられない場合があります。
- ❶ 本製品の取付けは、必ず作業員2名で行ってください。

脱脂作業について

- ❶ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）を使用して確実な脱脂を行ってください。
- ❶ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❶ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❶ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❶ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❶ 両面テープの圧着は49 N（5kgf/cm²）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後3～5時間程度は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❶ 本商品は塗装前に下地処理が必要です。必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❶ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❶ 塗装乾燥の加熱温度は必ず40℃以下で行ってください。40℃以上の加熱は製品が変形する恐れがあります。

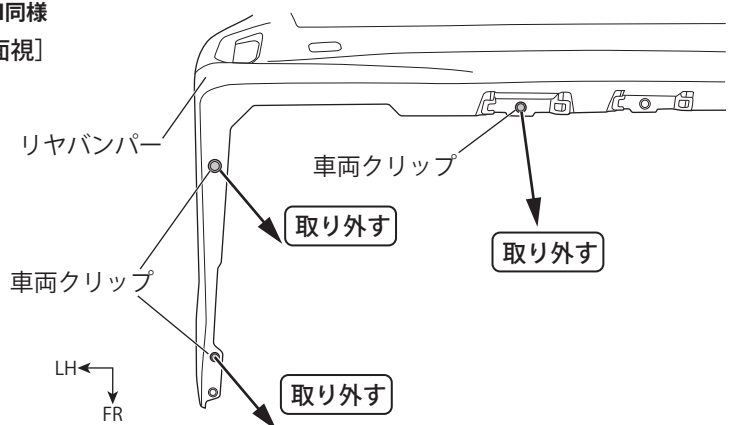
取付けが終わったら

- ❶ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❶ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
- ❶ 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■リアアンダースポイラーの取付け準備

※LH図示 RH同様

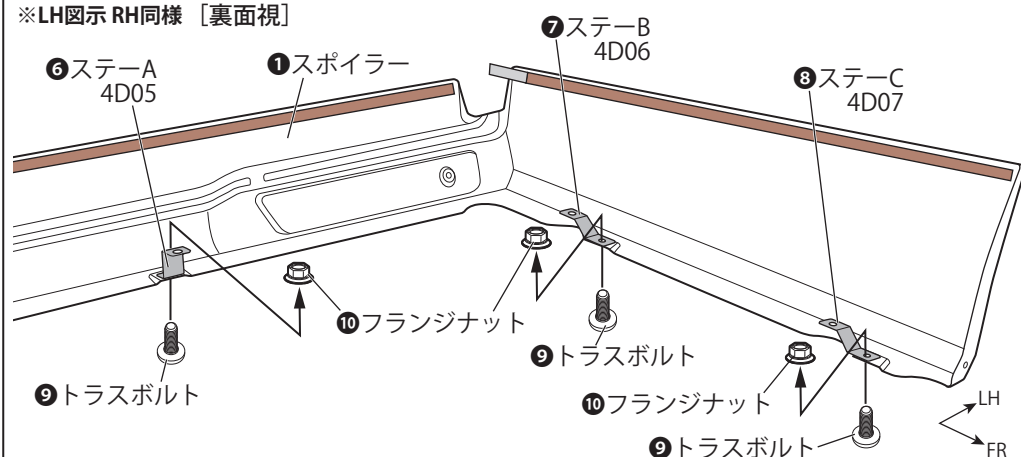
[下面視]



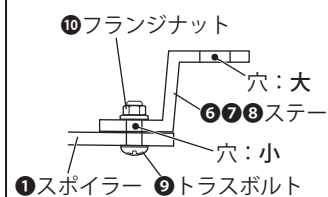
- ①リアバンパー下面の車両クリップを取り外してください。(左右各3ヶ所)
※取り外したクリップは再利用します。

- ②①スポイラー下面に⑥ステーA、⑦ステーB、⑧ステーCを⑨トラスボルト、⑩フランジナットで仮固定します。

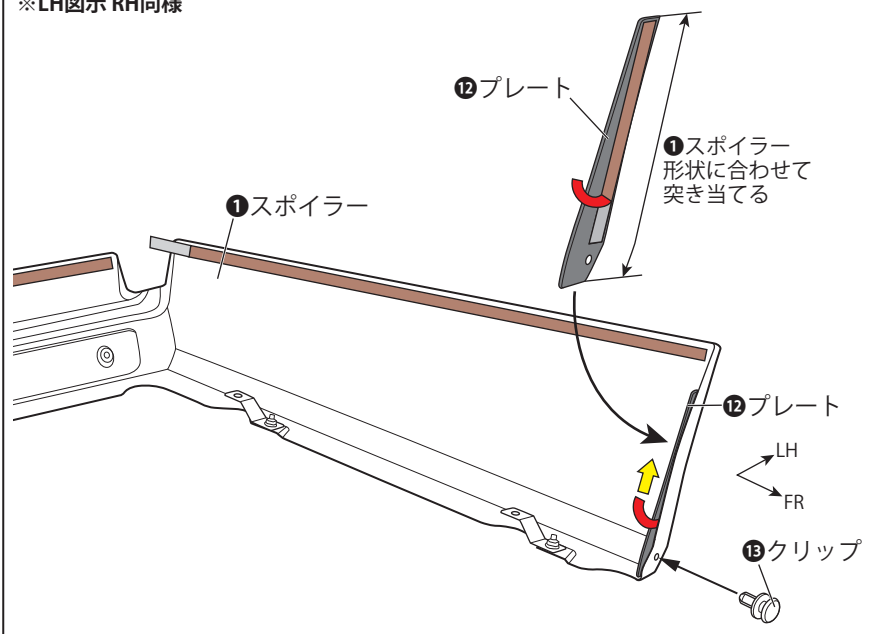
※LH図示 RH同様 [裏面視]



[ステー部断面図]



※LH図示 RH同様



- ③⑫プレートの両面テープの剥離紙を少しだけ剥がし、外側に引き出しておきます。

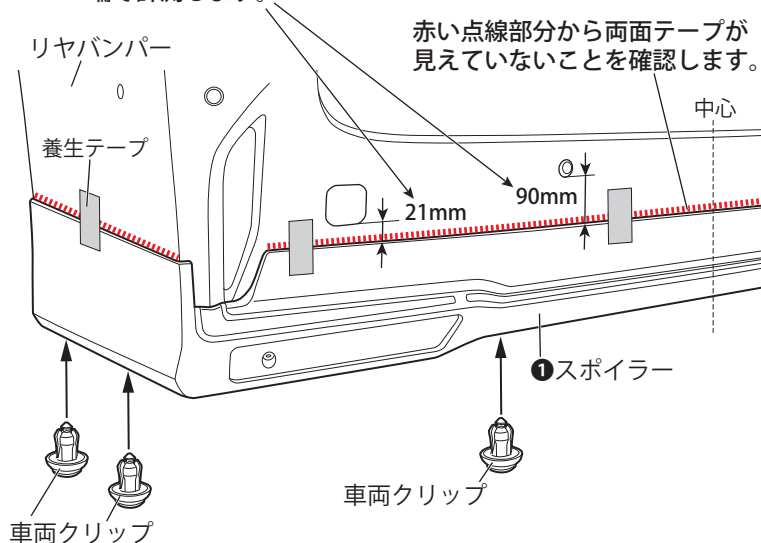
- ④①スポイラーのホイールハウス折り返し部裏側を洗浄脱脂し、⑫プレートを⑬クリップで固定して剥離紙を矢印の方向に引き抜きながら圧着します。

両面テープの圧着は、【49N (5kgf/cm²)】で行ってください。
目安としては、車両が少しゆれる程度です。
両面テープの粘着面全体をまんべんなく圧着してください。

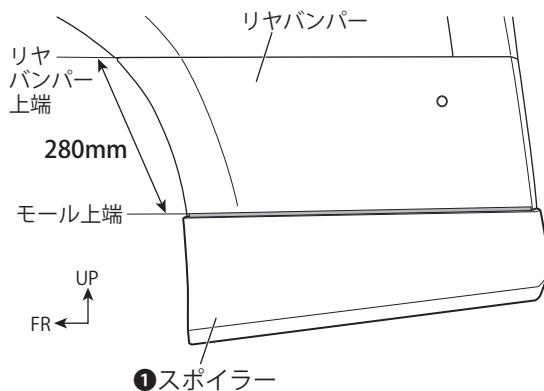
- ⑤ ①スポイラーを車両に仮合わせし、下面⑥⑦⑧ステー部を①で取り外した車両クリップで仮止めします。
 下図寸法で取り付け高さを計測し、両面テープの貼り付け面が正面から見えていないこと、各部位に隙間等問題が無いことを確認して養生テープ等で仮固定します。

※LH図示 RH同様

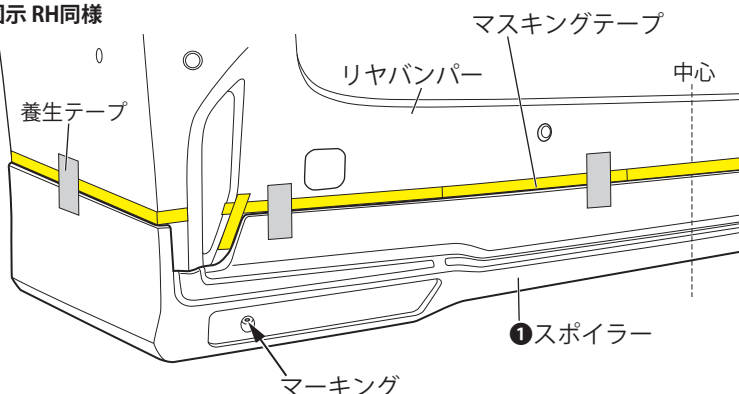
後面の牽引フックカバーおよびセンサーベゼル下端から①スポイラーのモール上端で計測します。



〔側面視〕 ①スポイラーの取付け高さ位置を計測します。



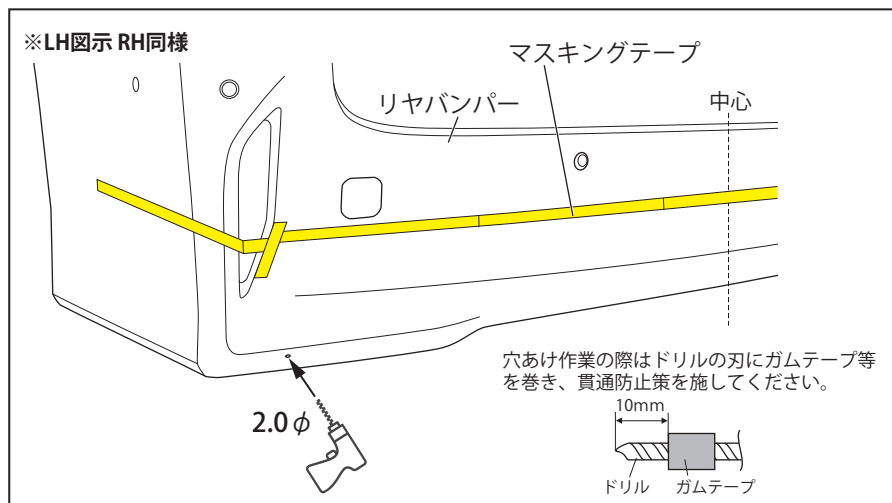
※LH図示 RH同様



- ⑥ ①スポイラーの上端に合わせてリアバンパーにマスキングテープを貼り付けます。

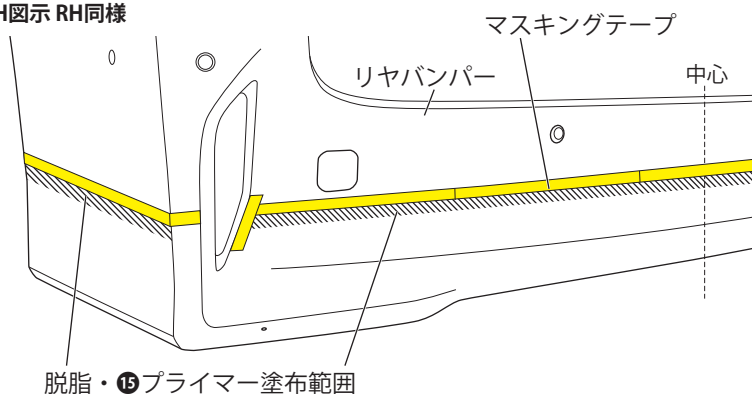
- ⑦ ①スポイラー後面左右の穴位置に合わせてリアバンパーに穴あけ位置をマーキングします。
 マーキング後、①スポイラーを取外します。

※LH図示 RH同様



- ⑧ マーキング位置にドリルを使用し2.0φの穴をあけてください。
 穴あけ後は加工穴周囲のバリを除去してください。

※LH図示 RH同様

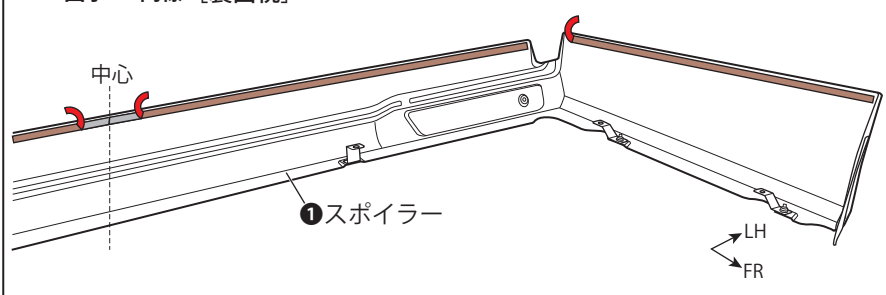


- ⑨左図斜線部の両面テープ貼り付け面を脱脂後、⑬プライマー（N-200）を塗布します。
塗布後、マスキングテープを剥がしてください。



注意 プライマー使用に際しては、3MPAC プライマー N200 取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこりや汚れ水滴が付着しないようにしながら、十分に乾燥させる。気温15℃以下では、加熱器を使用して温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

※LH図示 RH同様 [裏面視]



- ⑩①スポイラーの両面テープの剥離紙を少しだけ剥がし、外側に引き出しておきます。

■リアアンダースポイラーの取付け

- ①①スポイラーを車両に仮合わせし、左右後面を⑪タッピングビスで仮締めし、下面⑥⑦⑧ステー部を車両クリップで仮止めします。

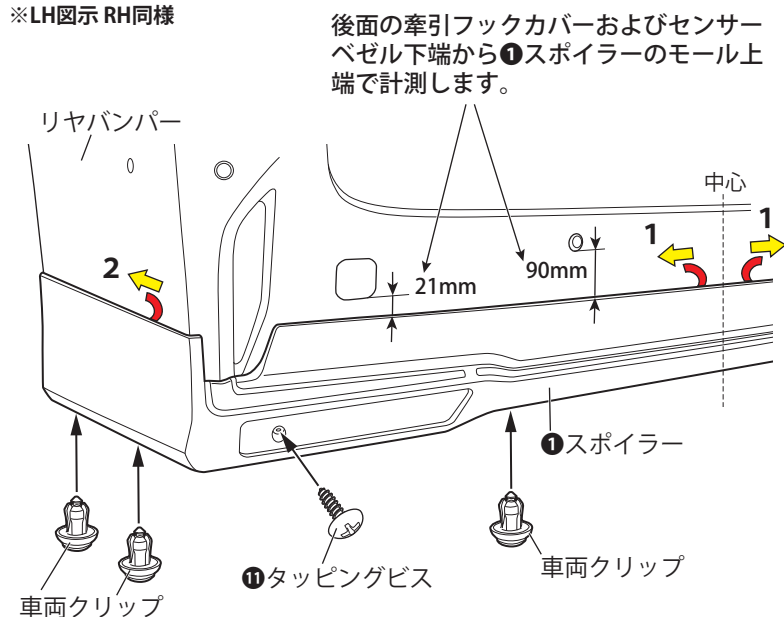
下図寸法で取り付け高さを計測し、各部位に隙間等問題が無いことを確認して剥離紙を番号順に下図矢印の方向へ引き抜きながら両面テープを圧着します。

両面テープの圧着は、【49N (5kgf/cm²)】で行ってください。目安としては、車両が少しゆれる程度です。

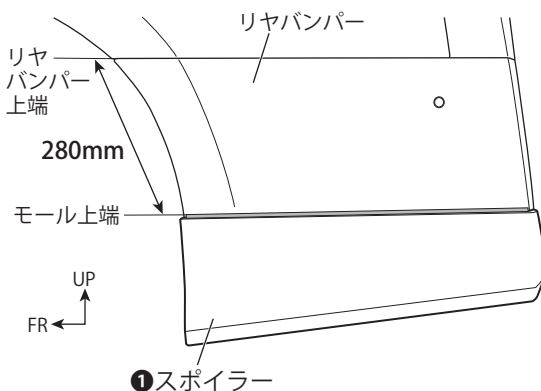
両面テープの粘着面全体をまんべんなく圧着してください。

- ②3ページ②で仮止めした⑥⑦⑧ステー取付け部の⑨トラスボルトと⑩フランジナット、後面左右の⑪タッピングビスを本締めします。

※LH図示 RH同様

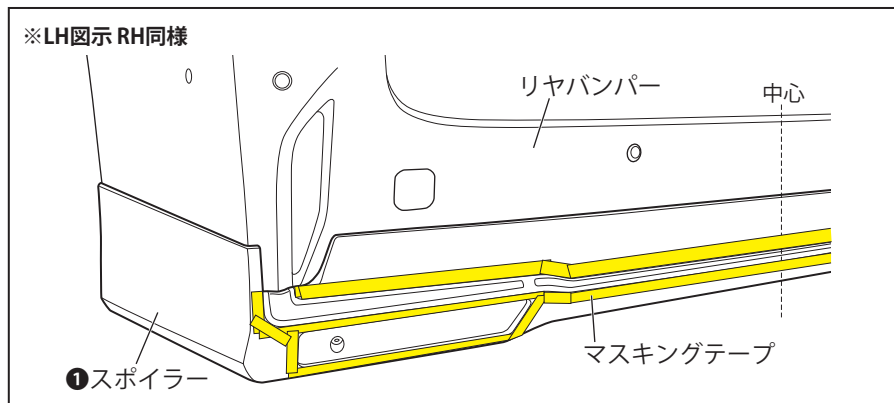


[側面視] ①スポイラーの取付け高さ位置を計測します。



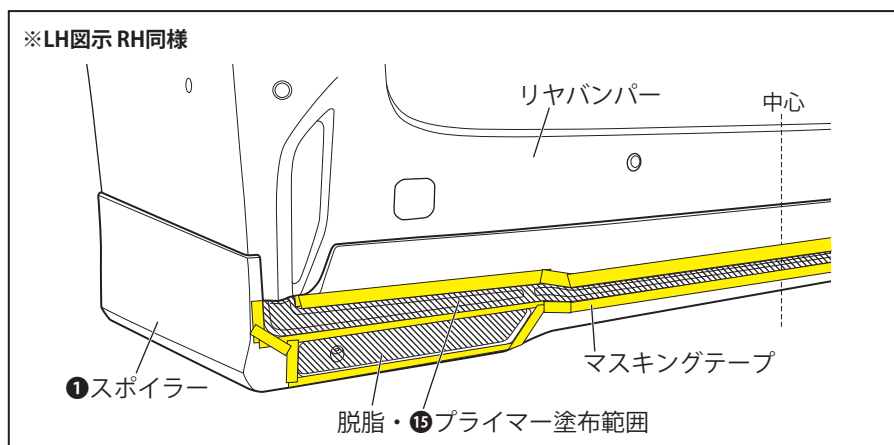
■メッキパーツの取付け

※LH図示 RH同様



- ① ①スポイラーのメッキパーツ貼り付け部の形状に合わせてマスキングテープを貼り付けます。

※LH図示 RH同様



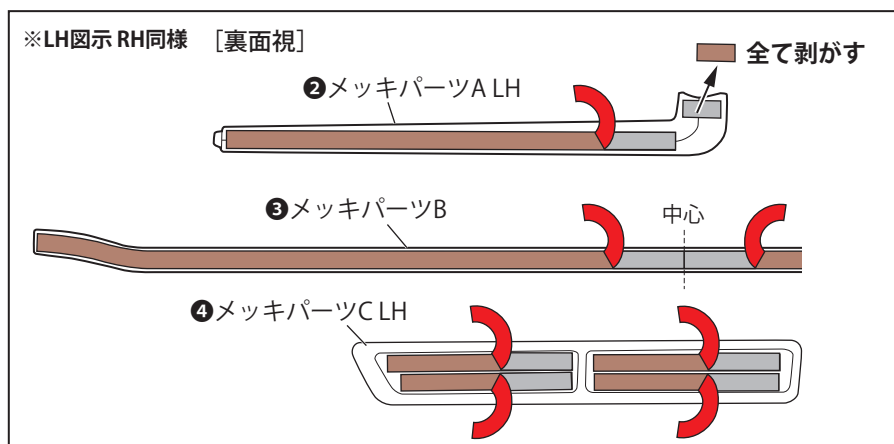
- ② 左図斜線部の両面テープ貼り付け面を脱脂後、⑮ プライマー (N-200) を塗布します。
塗布後、マスキングテープを剥がしてください。



注意

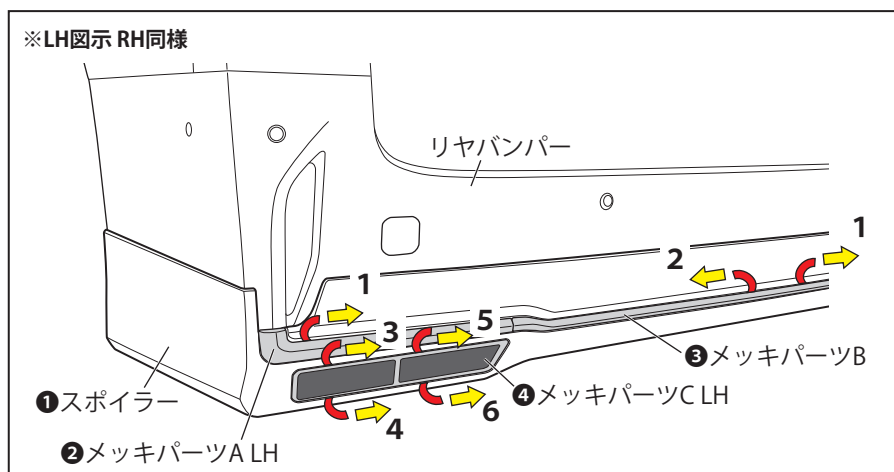
プライマー使用に際しては、3MPAC プライマー N200 取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこりや汚れ水滴が付着しないようにしながら、十分に乾燥させる。気温 15℃以下では、加熱器を使用して温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

※LH図示 RH同様 [裏面視]



- ③ ②③④メッキパーツの両面テープの剥離紙を少しだけ剥がして外側に引き出しておきます。
※一部指定箇所は全て剥がします。

※LH図示 RH同様



- ④ ②メッキパーツA、③メッキパーツB、④メッキパーツCの順で①スポイラーに仮合わせし、各部位に隙間等問題が無いことを確認して剥離紙を番号順に左図矢印の方向へ引き抜きながら両面テープを圧着します。

両面テープの圧着は、【49N (5kgf/cm²)】で行ってください。
目安としては、車両が少しゆれる程度です。
両面テープの粘着面全体をまんべんなく圧着してください。

※LH図示 RH同様

⑤メッキパーツD LH

養生テープ

突き当て

UP
LH←

⑤メッキパーツの端末をリヤバンパーのキャラクターラインに合わせます。

リヤバンパー

①スポイラー

⑤⑤メッキパーツDをリヤバンパーに仮合わせし、取付位置と各部位に隙間等問題が無いことを確認して養生テープ等で仮固定します。

※LH図示 RH同様

⑤メッキパーツD LH

マスキングテープ

養生テープ

UP
LH←

リヤバンパー

①スポイラー

⑥⑤メッキパーツDの端末に合わせてリヤバンパーおよび①スポイラーにマスキングテープを貼り付けます。マスキングテープを貼り付け後、⑤メッキパーツDを取り外します。

※LH図示 RH同様

マスキングテープ

脱脂・⑮プライマー
塗布範囲UP
LH←

リヤバンパー

①スポイラー

⑦左図斜線部の両面テープ貼り付け面を脱脂後、⑮プライマー（N-200）を塗布します。塗布後、マスキングテープを剥がしてください。



注意

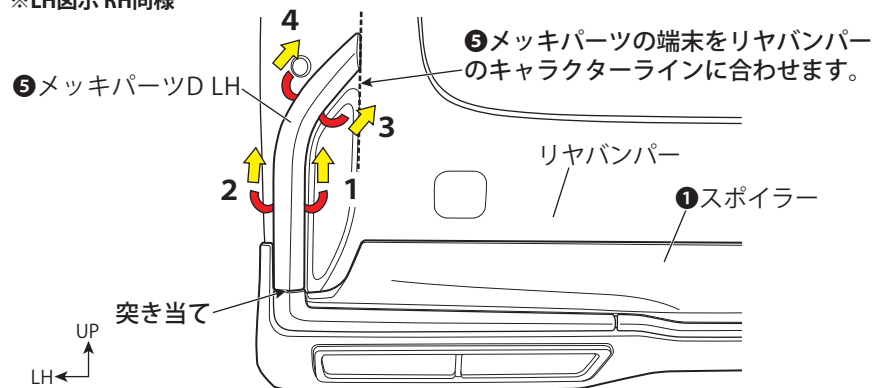
プライマー使用に際しては、3MPAC プライマー N200 取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこりや汚れ水滴が付着しないようにしながら、十分に乾燥させる。気温15℃以下では、加熱器を使用して温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

※LH図示 RH同様 [裏面視]

⑤メッキパーツD LH

⑧⑤メッキパーツDの両面テープの剥離紙を少しだけ剥がして外側に引き出しておきます。

※LH図示 RH同様



- ⑨⑤メッキパーツDをリヤバンパーに仮合わせし、取付位置と各部位に隙間等問題が無いことを確認して剥離紙を番号順に左図矢印の方向へ引き抜きながら両面テープを圧着します。

両面テープの圧着は、【49N (5kgf/cm²)】で行ってください。
目安としては、車両が少しゆれる程度です。
両面テープの粘着面全体をまんべんなく圧着してください。

■取付け完了後の確認、点検、及び注意事項



注意

- 1：①スポイラーが車両に確実に取付けられているかを点検する。
- 2：製品全体に、浮き、剥がれの無いことを確認、点検する。

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。最低3時間程度洗車はせず、また強い振動や風圧がかからないよう、静止時間を確保してください。圧着が不十分な場合、浮きや剥がれなどの原因となり脱落などが発生し、大事故につながる恐れがあります。

■リヤアンダースポイラー素地品の塗装手順



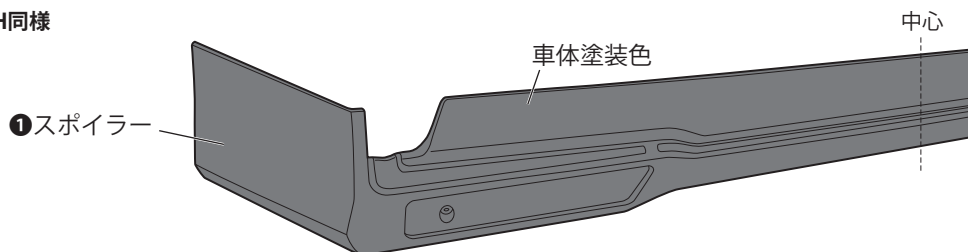
注意

素地品は塗装前に必ず仮合わせをして、各部に不具合がないかを確認してください。

塗装後の交換には応じられません。

- ① 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリ取り除た後、ホワイトガソリンやイソプロピルアルコール（IPA）を使用し、塗装面を丁寧に脱脂します。
- ② サフェーサー処理を施します。
- ③ 塗装を施します。塗装乾燥の加熱温度は、製品変形の恐れがあるため、40 度以下で行ってください。

※LH図示 RH同様



〈塗装の参考例〉 ①スポイラー → 車体塗装色 ※上記は当社デモカーを基準とした塗装指示となります。



注意

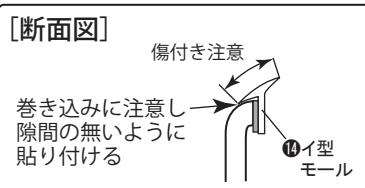
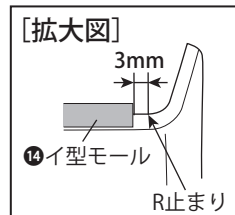
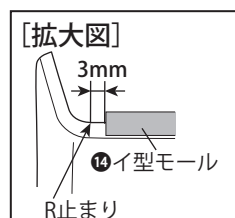
本製品は ABS製です。適切な塗料、方法にて塗装を行ってください。

■モールの貼り付け

- ① ①スポイラーに⑭イ型モールをカットして貼り付けます。
その際に貼り付け面を貼り付け面を脱脂後、⑯プライマー（K-500）を塗布します。

※LH図示 RH同様

※⑭イ型モールは2色同梱されています。
車体色に合わせて選択してください。



注意

プライマー使用に際しては、3MPAC プライマー K500 取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこりや汚れ水滴が付着しないようにしながら、十分に乾燥させる。気温 15℃以下では、加熱器を使用して温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

TOM'S エアロパーツについて**エアロパーツに関する注意事項：**

- エアロパーツを装着すると、路面とのクリアランスが狭くなり、段差やスロープで干渉しやすくなります。駐車場の輪止めブロックやフラップ式（跳ね上げ式）のコインパーキングなどにお車を駐車する際は、ご注意ください。
- 積雪時や凍結（着氷）状態での使用はエアロパーツが破損する危険があります。
- タイヤチェーンの装着時にエアロパーツへ干渉する可能性があります。
- 樹脂（FRP/ABS/AES/ ポリプロピレン /PPE）製のパーツは衝撃に弱く、取り扱いには十分な注意が必要です。低温時には特に破損の可能性が高まります。
- 破損の恐れがありますので、洗車機のご使用時はご注意ください。

エアロパーツの取り付けに関する注意事項：

- 必ずエアロパーツの装着前に仮合わせを行い、前後左右方向が均等になるように位置決めと調整を行ってください。
- 装着時にボディ（バンパー等）への穴あけ加工、ボディカットが必要な場合があります。
- 脱脂不足による両面テープの剥がれは保証対象外となります。
- 寒冷地仕様車には製品の取り付けが出来ない可能性があります。
- 他社製品、トヨタ純正製品とは同時装着が出来ない場合があります。（例：純正オプションパーツ「リヤフォグランプ」）
- コーティングを施した車両にエアロパーツを取り付ける場合、両面テープが剥がれやすいので、充分に脱脂作業を行ってください。同梱のプライマーを必ずご使用ください。

塗装に関する注意事項：

- 経年劣化や下地素材の違いにより色差が生じることがあります。特にパール、マイカ系の色味は晴天と屋内で異なる場合があります。
- より完璧な仕上がりをご希望の際は、素地品をご手配のうえ板金工場様にてお客様のお車に合わせた塗装をおすすめします。
- 素地商品は塗装前に下地処理が必要です。

CFRP 製品に関する注意事項：

- CFRP 製品はカーボン柄が一律でない場合があります。
- 使用環境や経年によりクリア塗装にブリストアやピンホールが発生する可能性があります。
- クリア塗装の透明度が経年で低下することがありますが、これは実用に支障をきたすような不具合ではありません。
- 製品の特性上、気温による収縮や膨張がある為、多少の段差やラインのずれが生じる場合があります。

その他の注意事項：

- 輸送途中の製品破損に関しては保証対象外となります。速やかに輸送会社様へ「運送破損の賠償請求」のご相談ください。

TOM'S INC.

株式会社トムス 〒158-0082 東京都世田谷区等々力 6-13-10
■お問合せ先 TEL：03-3704-6191 FAX：03-3704-9486
www.tomsracing.co.jp

**TOM'S**